

納めて頂いた税金の用途に
慎重な対応が必要ではないか。



仁政クラブ 田口 寿宜 議員

市長 最善の努力をしている。



■観光振興に対する入湯税の効果的な活用を望む

市民生活の状況を把握・分析
できているのか。

質問 市民生活の状況の把握・分析を行った上で、施策・事業の展開を図る事が基本と考えるが、市当局では、どのように状況の把握・分析を行っているのか。

答弁 市民等を代表する各種委員会からの意見・提言を政策と予算へ反映する事に一生懸命取

り組んでいる。また、まちづくり懇談会や地域団体や経済関係者の方々等と意見交換を頻繁に行っており、様々な意見・要望

を頂く事も大変重要な場面である。更に、総合計画に掲げた指標の進捗状況や各種統計調査の結果、市の施策に対するアンケート調査の実施等々で状況の把握・分析を行って来ている。

質問 市民生活が豊かになって来たという状況を、目に見える形でしかも肌で感じ取る事によって、施策・事業の成果・結果が出て来るものと考えるが、そうした状況は実際に感じ取られているのか。

答弁 いくら何でも市民に良くなったな、楽になったなという思いを感じ取って頂けるように一生懸命に努力しているつもりである。ニーズの多様性、また、受け止め方の相違にどう応えていくか、税金の使い方を含め、行政運営は日増しに難しく

なっているという受け止め方をしてい

なっているという受け止め方をしてい

入湯税の活用について問う

質問 入湯税について、事業者からは、観光施策を通じてしっかりと目に見える形で還元すべきとの声が多数ある。今年度予算では、

観光関係にも配分されていたが、今後、どのように効果と結果が現れるのか。

答弁 老朽化している

引湯管を、例えば入湯税を活用し布設替えを行う等、新制度の立ち上げの検討に既に入っている。ハード・ソフト両面に渡る観光政策を計画的に進め、温泉資源を有する観光地として、安全で快適な環境づくりに活用していきたい思いを持っている。

質問 子育て関連の施策・事業では、所得制限を設けているものが見受けられる。所得制限の在り方について、今後、検討を



■子育て支援に対する所得制限の再考を

加えるべきと考えるがどうか。

答弁 今後の人口減少であったり、また、子育て環境の総合的な充実の視点から考えると、例えば、国や県のメニューであったとしても、様々な場面をとらえて所得制限制度そのものの在り方について、議論をする必要があるというような思いを持っている。

(八柳良太郎記)

神代診療所に一日も早く常勤医を。



翠巒会 大石 温基 議員

市長

各医療機関との連携を深め、積極的に招聘にあたっていく。



■常勤医が待たれる神代診療所

診療所はどうなるのか

質問 神代診療所の伊藤先生は、なぜ辞めて行ったのか。

答弁 在宅医療のサポート体制も含め、両市立病院との病診連携が思う形ではないことや、65歳定年制度への不満ではないかと思う。

質問 よく主治医を持ってと言われる。同じ先生がいつもいると安心感もあると思うので、一日

でも早く常勤医を置いていただきたい。

答弁 各診療所は、地域の皆さんが、いつもで安心して診療が受けられる地域の診療所、生活に密着した診療所が一番大切と思っている。そこには、地域の皆さんから慕われる常勤医の主治医的存在が、絶対に欠かせないと思っている。今後も各医療機関との連携、連絡を深めて積極的に常勤医の招聘にあたっていく。

市道法面の 草刈りや側溝の 掃除は

質問 現在は各自で行っているが、これからは難しくなるのではないのか。

答弁 市直営、町内会や道路に隣接する土地所有者が行っている。今後、ますます高齢化、過疎化が進み、各自の作業が難しくなることが予想され、大変心配

している状況である。市直営での作業に協力にする。また、委託という形で外部にお願いする。隣接する土地所有者、各団体への協力と、対応を検討していかなければならない。

産業発展に向け 連携はなされて いるのか

質問 観光、商工、農林業、市が一つになって話し合われているのか。

答弁 農商工観光連携の取り組みを実現するために、市は非常に大きい役割を担っていると認識している。企業等連絡協議会、産業推進委員会、また、農林業、商工業、観光業など関係する団体と密接な連携をしていきたい。

上下水道・交通 システムの進捗状況は

質問 上下水道の推進、地域内

交通システムの確立、とあったが、どの程度進んでいるのか。
答弁 上下水道は2年遅れで、下水道は集落排水と合併処理浄化槽で、目標をクリアしている。公共交通は市民バス4路線とデマンド型乗合タクシーがある。デマンド型は、わかりにくいというご指摘もあったが、市民の方々に浸透してきて利用者が増えている。



■法面から市道に張り出した草

(伊藤 邦彦 記)



民政会議 伊藤 邦彦 議員

落合球場の不備について伺う。

市長 来春の開幕まで改修を図っていく。

落合球場について伺う

質問 長い歴史のある全県少年野球大曲仙北地区予選会場から落合球場が除外された。その経緯について伺う。

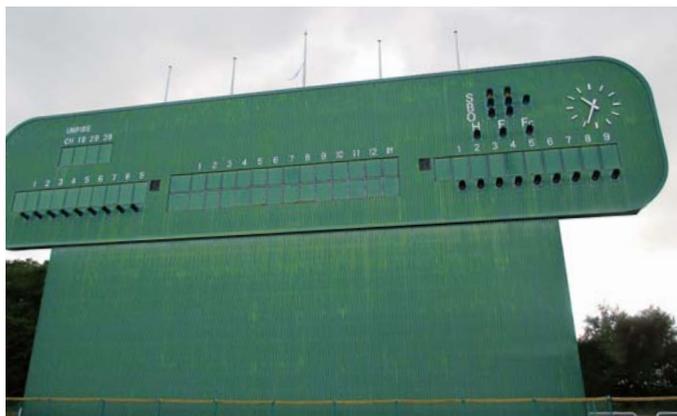
答弁(教育長) 平成27年度の水質検査の結果において、その水質が基準に適合しない事が判明したためである。

質問 来年度の大会に復活を期して早急に対策を取るべきだ、所見を伺う。

答弁 来春開院予定の市立角館新病院付近から上水道を引き、野球シーズン開幕まで完成させたい。

質問 同野球場の時計も壊れている。スコアボードのSBOもB SOに国際基準が変わり数年が経過しているにも拘わらず依然として改修に至っていない。この状況をどうとらえているのか伺いたい。

答弁 私の中では改修済みとの勘違いがあった。早急に改修を図りたい。



■多くの不備を残したまま改修されないスコアボード

質問 25年度に田沢湖球場の改修が終われば落合球場の改修に入ると実施計画には示されている。にもかかわらず一向に改修の動きが見えない。その対策を伺いたい。

答弁 市民生活に直結する優先度の高い事業が控えており、その為年次計画を変更してきた経緯がある。平成29年度に関係者と協議、再調査を行い実施に向かいたい。

質問 旧角館東小学校学校グラウンドのフェンスの傷みが激しい。使用団体も多く早期改修が出来ないか。

答弁(教育長) 体育施設マスタープランを基に修繕、補修を実施して行きたい。

質問 かねてから要望している西明寺中学校野球場バックスクリーン、審判員控え室等について現状を伺う。

答弁 西明寺中学校体育館の屋根の雨漏り事案が起きたりで順調に進んでおらないことは十分承知している。年次計画にのせて一つ一つ果たして行きたい。

AEDの設置状況について伺う

質問 尊い人命を救うためAED装置を昼夜いつでも使用できるように、24時間営業しているコンビニへの設置を依頼できないか。

答弁 市内全体には98台のAED



■24時間営業店への設置が待たれるAED

Dが設置されている。設置をする際は、温度、湿度、ほこり、また、気温の低い場所への設置は寒さによりパッドジェルが固まって機能を果さない等の注意点がある。提案のとり市内コンビニエンスストアに協力要請をするが経営者、また、スタッフの負担を最小限にする事等を含め精力的に協議を進めて行きたい。

(大石温基記)

さくら祭りから連休まで
切れ目のない誘客策をとれ。



市民クラブ 八柳 良太郎 議員

市長 計画的に整備をしていきたい。



■角中通学路 電柱移設を

死傷者が
でてからでは遅い

角館中学校通学路改善を

質問 横町橋を渡った桜美町側の道路は橋からいくらかも行かないうちに、狭い道路のすぐそばに電柱が立ち朝夕危険な桜美町の通学路の電柱付近は改善箇所
に該当しているか。

答弁(教育長) 重要な改善箇所となっており、車道と路側帯が
区別できるようグリーンベルト

等を設置し、事故防止に努めている。

質問 電柱移動がいいのか、電柱もグリーンベルトも含めたもう少し広い歩道を南側につくつか、もしくは横町橋の上流に歩道をつくるか。どの案を採用するのか。改善策を決めるべきだ。
答弁(教育長) 具体的方策についてはご指摘の通り複数の方策が考えられている。根本的解決を図るためにも今後電柱移設の方法で関係機関と早急に協議を進めたい。

古城山からの
世界一の景観を
売り出せ

質問 地球温暖化で桜の咲き始めから散り果てまでが早くなり4月25、26日頃で葉桜になるようである。その後5月の連休まで閑散となる。客が減少していると思われる原因の一つである。古城山からの町を含めた眼下の全景は世界

一ではないか。

古城山の清掃・整備は
どうなっているのか。

答弁 「里山に親しむ地域づくり」に関係する団体が議論した内容を踏まえ、28年からまちづくり運営体で森林環境の保全事業として枝打ち、下刈り等の下準備作業に入っている。

質問 古城山の桜の景観保持の為、ウソ対策の現状はどうか。

答弁 松木内左岸の内川橋から鶴ノ崎橋上流

まで2キロの範囲で取り組んでいる。食害が軽微であったので捕獲の為の猟銃駆除は行っていない。

質問 遅咲きの桜を選定すべきではないか。

答弁 遅咲き桜として「関山」を中心に考えてもいいのかと思う。

分庁舎方式は将来
経済的負担が大きい

質問 分庁舎方式は自治法上の第2条第14項「事務を処理する

に当たり住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬ」との明文に反しないか。

答弁 分庁舎方式を継続してゆくことは、後年に大規模な整備事業を先送りすることになる。将来市民に大きな経済的負担を強いることは間違いない。もはや、問題を先送りするいとまも財政的余裕もない。

(田口寿宣記)



■仙北市の顔 田沢湖庁舎、早急な耐震工事が必要



高久 昭二 議員

なぜ地区住民への
事前協議をしなかったのか。

市長 行政指導が不足していた。

メガソーラー事業に
対する市の対応と
責任を問う

質問 仙北市がふるさと融資や利子補給の支援をした、卒田黒倉地区に進出した民間のメガソーラー事業者が何故、地区住民への事前協議をしないで事業を進めたのか。

答弁 市が民間事業者に対して、地区住民への説明責任の果し方への行政指導が不足していた。

会いや、事前協議がされなかったのは何故か。

答弁 境界の立ち会いや事前協議がされないという認識を市は持っていない。

質問 抱返り自然公園や黒倉遺跡への影響はないか。

答弁 調査の結果、問題はないとの認識である。

質問 土地改良区用水路の橋等の法定外公共物の使用について市は同意したのか。

答弁 現地立ち会いを行った結果、違法性がないということで認可している。

質問 地区住民と事業者との災害時を含めた協定書が締結されていないのは何故か。

答弁 市、土地改良区、事業者との協定は締結されたが、地区住民との協定は協議中である。

司食品工業を誘致
できなかった
市の責任を問う

質問 市長は、司食品工業誘致の為支出した2億5千万円の損害賠償訴訟等の法的措置を取るとしていたが、新たな企業誘致にはプラスにならないと提訴を見送るとした真意を伺う。

答弁 提訴については一時考慮したが、同一敷地に、新たな企業誘致を進めている段階で、その敷地に関する係争事案にすることは、企業誘致にとつて利がないという、私の判断である。

質問 ブラック企業的体質により従業員が労働組合を結成したとの情報を入手し、市に独自の商工リサーチを求めたが調査しなかったのは何故か。

答弁 秋田銀行との長い信頼関係があつての銀行による企業誘致の橋渡しだと認識しており、信頼関係による対応をした。

乳頭温泉郷硫化水素ガス
事故と市の対応を問う

質問 作業時、ガス測定器、ガスマスクの携帯をさせず、致死量を遙かに超えるガス濃度の中



■新企業の誘致が図られるか

での作業中死亡された。遺族の皆様が市への損害賠償の申立てをされたが、市の対応を伺う。

答弁 ご遺族からの損害賠償申立書提出につき、副市長を責任者とし、総務課を窓口として12月定例会まで、慰謝料、損害賠償額を定め顧問弁護士に意見を求め、議会に諮り誠意をもつて進めたい。

(門脇民夫記)

「フードバンク」への支援活動を。

公明党 熊谷一夫 議員



市長 フードバンクの運動に参加する方向で協議していく。

設計・積算の専門性を持つ 職員の採用を提言

質問 設計・積算の専門性を持つ1級建築士の職員採用を提言する。

答弁 今後の事業量を考えると採用したいという思いである。できるだけ早い時期に方針づけたい。

「食品ロス」の削減と「フードバンク」の支援活動を提案

質問 年間632万tもの食品ロスを減らす為に30・10運動や学校教育等で啓発を進めるべきではないか。

答弁 保育園や小・中学生を対象に「食に感謝する心をはぐくもう」と食料の大切さ、もったいない意識を盛り込み推進活動を行っている。今後は食品ロス削減の為30・10運動の情報発信を行っていききたい。

質問 ①本市の生活困窮者の世帯数と対応はどうか。②災害用



■危険度判定を行う大仙市職員 (1級建築士)

の備蓄食品をフードバンクへ寄附の考えは。③食品回収ボックスの設置を提案する。

答弁 ①生活困窮の相談は昨年度91件である。社会福祉協議会と連携して対応している。

②更新時に余剰食が発生するのを想定して寄附等に取組みたい。③市としてフードバンクの運動に参加する方向で関係団体と協議していく。

「国土強靱化地域計画」の策定により防災対策を強固に!

質問 今後の大規模災害から市民の生命・財産を守る為に「国土強靱化地域計画」を早急に策定すべきと考えるが、いつごろを目途に、その内容についてはどうか。台風等の防災対策の見直しの必要はないのか。

答弁 早急に策定すべきと考える。県や関係機関との連携もある。約2年を目途に進めたい。内容は、人命保護と市民の財産及び公共施設被害の最少化など、地域防災計画と調和を保ちながら進めていく。台風10号の時は情報収集し、災害対応をしっかりと行った。災害時の対応は、改善の余地があると認識している。

(佐藤大成記)



■フードバンク回収ボックス(秋田市社協)

用語解説

30・10(さんまる・いちまる)運動…宴会等での食べ残しを減らす為に、乾杯後の30分と終了前の10分間は自席で食事を楽しむ運動。
 フードバンク運動…消費期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者へ無償提供する運動



育英資金の運用に問題があるのでは。

議員 荒木田 俊一 翠巒会

教育長 問題点があれば是正したい。

育英奨学資金の免除について伺う

質問 現在の免除の件数、年間の総額は。

答弁(教育長) 43名、総額512万3千600円になる。

質問 奨学資金の原資を出してくれた方々や団体に原資が減になる事を説明したのか。

答弁(教育長) 説明の機会を設けなかったことは大変申し訳なかった。今後機会をとらえて最

大努力をしまいたい。
質問 原資が不足した場合の対応は。

答弁(教育長) 3月末日時点で確定し、それから審議会に諮り、議事に提案したい。

意見 定住対策の政策として行うのであればすべての奨学金が対象となる補助型の新制度にするべきと提案する。

性を図る上で有効な事業と強く思っている。国の農業基盤整備事業に採択されるよう全力で取り組み、その上で採択の見込みが無いケースについては市単独の対応も実現できるように取り組みたい。

質問 市が一生懸命取り組んでいることが農家のやる気や安心感につながると思うがどうか。

農家に好評だった簡易な土地改良は無くなったのか。

質問 畦畔除去などの区画拡大事業はなくなったのか。

答弁 事業としては無くなっているが26年度に新たな事業が創設され耕作条件改善事業が難しい状況である。

質問 このままでは耕作条件の不利地の解消が出来ないがそれで良いのか。

答弁 作業の効率化、農地の貸借条件の優位

答弁 みんなでやっていきましょうという機運を創る事をまずやらなければならない。その気概を応援できるように状況になるよう、一生懸命取り組みたい。

市有地・建物の活用処分について伺う

質問 学校跡や所有地の活用についてどう管理していくのか。

答弁(教育長) 公共施設管理計



■荒廃が心配される農地

画で方針を示すことで準備を進めている。
現在解体という事で進めているものもある。土地も公売の方向のものもある。
義務的な経費が膨らむということは明らかであり荷物は早く精算したい思いである。

(阿部則比古記)

建設労働者・職人労働者の資格取得に助成を。

仁政クラブ 黒澤龍己 議員



市長

職業技術向上の支援と
経済的負担軽減の制度を作って対応したい。



■遊具の設置が待たれる駅東公園

遊園地計画はあるか

質問 お母さんたちから、子どもが遊べる場所がないと言われる。仙北市の実態はどのようになっているか。

①遊園地の数は。②多くの子ども達が遊べる遊園地計画は。③実施計画の可能性と場所。
答弁 遊具が設置されている児童公園は14か所。都市公園は9か所、遊具施設は生保内公園のみである。大規模な施設設備は、現在はない。

落合運動公園内に、遊具設置の提案をいただいております、す

に協議検討を始めている。雨天でも遊べる施設の充実を実現させたい。

落合球場の飲料水と設備について伺う

質問 飲用できない理由は何か。管の腐食が原因とするならば、室内の配管の調査を早急にやるべきと思うがどうか。

答弁(教育長) 配管の調査をし、つかりやり、6月初旬に間に合わせたい。

質問 仙北市の野球場は電光掲示板になっていない。今後の対応策は。

答弁(教育長) いろいろな関係機関、財政、担当課で、できるだけ速やかに対応できるように頑張りたい。

仙北市雇用対策、資格取得サポート補助事業について伺う

質問 建設労働者、職人労働者への助成対象の要件と内容についてどのようになっているか。

るか。

答弁 勤労者対策・雇用対策・雇用創出の3事業には助成をしている。

勤労者対策事業の要件として、常時雇用者が5人以上、仙北市商工会員であること。雇用対策事業は、市内に在住の離職者や求職者、学卒者未就職者の資質の向上、就労の促進を図るもので市民を対象。雇用創出事業は、新規雇用企業に一人当たり30万円を限度に助成している。市内の業者数は商工会調べで1467業者があるが従業員5人以上の事業所は312事業、商工会員になつていない事業所は254事業と少ない。助成対象に企業が大多数となつている。この状況ではいけないと思つている。

質問 補助、助成に該当する職種はいくらあるのか。
答弁 建設労働の職種7業種、職人の職種は9職種程度であると思つている。

質問 年齢制限はされているのか。
答弁 勤労者対策事業は、制限がない。雇用対策事業は、制限はないが条件がある。雇用創出



■建設労働者の資格取得にサポートを

事業は、65歳未満の方でハローワークを通じての雇用で雇用保険、社会保険等の加入が条件になつている。

質問 市独自の市民全体を対象にできる就業支援、資格取得への助成はあるのか。
答弁 現在、市民全体を対象にできる就労の確保、就業支援、資格取得に支援がない。仙北市建築技能組合の方々からの要望書の中で、市が独自で行わないといけないと思われるような補助がないと指摘を受けている。制度の構築を図りたい。

(平岡裕子記)